

# 府内の届出わずか30医院

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、政府は2020年4月24日、電話や情報通信機器を用いた「オンライン診療」の制限的・特例的導入を歯科にも拡大した。これにより、初診からオンラインによる保険診療が可能となった。

の診療を求められた時だ。原則として処方箋を併用して診察が対象になる。注意しなければならないのは、オンラインによる診療は、オンラインによる診断や処方箋が「歯科医師の責任の下で医学的に可能である」と判断した範囲（厚生省事務連絡）に限られていることだ。

## 歯科医の責任で可否を判断

オンライン診療ができてからは患者から電話等での診察にあたっては、過去の診療録や診療情報提供書などにより患者の口腔状況や基礎疾患の情報をとることができる限り把握することだ。

## オンライン診療考

府の担当によると、オンライン診療の届出をしている歯科医療機関は府

内で30ほどでまわっている（12月末時点）。これまでの患者数は、べ初診23、再診32で、月別の算定医療機関数は0〜6と全く普及していない。報告された診断名は歯周炎などの急性炎症が多く、処方箋は鎮痛薬が占める。応急的な対応がほとんどだ。

## 算定の現状は 応急的な対応

対面診療を基本とする歯科治療の特性上、オンライン診療の範囲は極めて限定的だ。疾患の見落としや重症化リスクなどが高まることが懸念されており、政府・厚生省が旗を振ることも普及は望めないのではないか。

## いかななものか

森本新一（大阪狭山市）

厚生労働省が3月から導入を目指すオンライン資格確認システムで、顔認証付きカードリーダーを申し込んでいる歯科診療所は全体の17・0%（1月3日時点）であるという。どの程度普及するか未知数だが、個人情報保護の見地や医院運営での負担の増加などという問題点が指摘され、小規模な医院が多数を占める歯科診療所においてその導入のメリットは多いとはいえない。

システムが国民の皆様幅広く認められるとは思えない状況下で単に厚労省の思惑だけで未熟で未成熟なシステムが上意下達的に我々に押しつけることは許されまいだろう。

今後、導入歯科医院と未導入歯科医院との間に何らかの診療報酬等で差異が設定される可能性も考えられるとしたら、その社会的影響は見逃される程度を遙かに越える。導入の判断は個々の歯科医院にあるのでそれほど大きな問題ではないとの楽観は、国民医療の充実の観点からいかなものかであろう。

# はじまりは大阪にあり!

井上 理津子

第12回 新日本放送 (現・毎日放送)

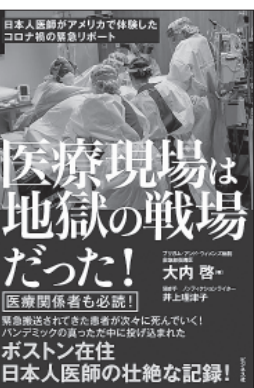
敗戦直後に毎日新聞内で「マスコミには多文化と自由な表現が第一」との議論があったのが、一

後、別ルートで放送局立ち上げを計画していた上海の放送局の管理経験

## 風変わりな番組で人気 日本初のラジオ民放局

敗戦直後に毎日新聞内で「マスコミには多文化と自由な表現が第一」との議論があったのが、一

後、別ルートで放送局立ち上げを計画していた上海の放送局の管理経験



日本人医師がアメリカで体験したコロナ禍の最前線レポート

NHKラジオの放送は1925（大正14）年に東京で始まったが、民放は大坂からだ。1951（昭和26）年9月1日の正午前、「J-OOR みなさまの新日本放送」で始まりました。周波数1210キロサイクルで大阪からお送り致します」と、女性アナウンサーが読む毎日新聞ニュースと続いた。

早い開局への端緒だ。毎日新聞社員が渡米して商業放送を視察した。帰国

者、後の南海電鉄社長の寺田甚吉、川勝傳の3人と「一緒にやろう」と46年12月1日に手打ちしたのが前史だ。

上げを上げたらしい」と見切り発車をしたのだ。経理・総務は京阪神急行電鉄（現阪急電鉄）、編成・制作・営業は毎日放送、技術関係は日本電気が下りたのが47年10月。素早く在阪の財界トップが協力し、50年12月に新日本放送株式会社が発足した。翌51年4月に全国16社に「予備免許」が下りたのは同時だった。新日本放送は「ガタガタ言わずにさっさと開局してしまえ。さっさと売

字に転化。スポンサーには、武田薬品、松下電器、早川電機、東洋紡績など多くの在阪企業が競うように名を連ねたものさす。7、8年後にテレビの時代が来るまで、ラジオの黄金時代が続いた。

の戦場だった！」を上梓した（写真）。米国のコロナ治療の最前線に立つ救急医で甥の大内啓氏が語った内容をまとめた。過酷な現場の実態を生々しく記録した一冊。ビジネス社、1400円。

参加ご希望の方は、必ず事前にお申し込み下さい。M&Dホールは保険医会館東隣りです。

## 協会行事案内

お申し込みは 電話 06-6568-7731 HP osk-net.org ファクス 06-6568-0564

令和3年における「接着歯学」〜CAD/CAM冠治療において何をすべきかを考えるための知恵

日時 2月7日(日) 午前10時〜正午  
会場 M&Dホール(保険医会館東隣り)  
定員 40人  
講師 峯篤史氏(大阪大学大学院歯学研究所歯科補綴学第一教室講師)  
会費 会員・スタッフ無料、未入会者1万円

感染拡大防止等支援事業の税務上と取り扱いと実績報告書の記載説明会

日時 2月14日(日) 午前10時30分〜正午  
会場 M&Dホール(保険医会館東隣り)  
講師 協会医業税理士団税理士  
会費 会員1院所につき2千円(レターパック代を含む)  
定員 50人(会員・家族限定)  
持参物 ①事前に大阪府へ請求し送られてきた紙様式実績報告書②申請経費に該当する領収書または請求書十支払いの記録がわかるもの(通帳の該当箇所の写し等)③筆記用具、計算機他。  
※持参物をお知らせしますので必ず事前にお申し込みください。当日、予約なしで越越しの場合はお断りいたします。

2月度生涯進研 保険でよい歯科医療を〜近年の保存修復治療

日時 2月21日(日) 午前10時〜午後1時  
会場 M&Dホール(保険医会館東隣り)  
講師 山本一世氏(大阪歯科大学歯科保存学講座主任教授)  
会費 会員3千円、未入会者1万円  
定員 60人

新型コロナウイルス感染拡大により中止する場合は、紙面等のご案内します。

無料相談

法律 2月1日(月) 午後2時〜4時  
税務 2月17日(水) 午後2時〜5時  
雇用 2月18日(木) 午後2時〜4時

※会場は保険医会館。1週間前までに要申し込み

未入会者とは、会員院所に勤める未入会勤務医です

※協会行事などを本紙等で報道・紹介するため、講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、趣旨をご理解の上、ご了承ください。また、講習会でのビデオ撮影や録音はお断りします。